



地域おこし協力隊に新たに2人が入隊！

地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域協力活動に取り組む「地域おこし協力隊」に埼玉県出身の五十嵐ちひろさんと東京都出身の佐藤創さんが加わりました。

7月11日、市役所で中村市長より委嘱状が手渡され、「地域に溶け込んで、地域のために活躍してほしい」と二人を激励しました。

五十嵐さんは「住めば住むほどいいところ。多くの人に鳥羽の魅力を知ってほしい」、佐藤さんは「鳥羽暮らしの魅力を動画で発信していきたい」と思いを語ってくれました。



第46回鳥羽市消防ポンプ操法大会

6月25日、松尾町第2期工業団地で第46回鳥羽市消防ポンプ操法大会が行われました。

大会には答志、長岡、菅島、鏡浦、加茂の5分団が出場し、たくさんの市民のみなさんが来場して声援を送る中、安全性・迅速性・確実性が競われ、答志分団が2年連続で優勝しました。



大漁と安全を祈り

7月8日、菅島で「しろんご祭」が行われ、約30人の海女が一斉に海に潜りアワビ獲りを競いました。

この祭りは、赤黒一対のアワビを獲るのを競い合い、最初に獲れたアワビは「まねき鮑」と呼ばれ、島の守護神である白髭神社に奉納されます。今年は、木下妙子さんが最初にアワビを獲り、1年間「海女頭」として敬われます。

当日は天候に恵まれ、観光客や地元のかたなど約400人が写真を撮るなどして祭りを楽しみました。



インターハイ、頑張ります！！

7月18日、鳥羽商船高等専門学校の少林寺拳法部の安部豊さん、上原俊介さんが8月に宮城県で開催される全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会への出場報告のため市長室を訪れました。

安部さんは「まずは予選突破し、優勝を目指して頑張ります」と意気込みを語り、中村市長は「練習の成果を十分に発揮してほしい」と激励しました。生徒らは今回が初めてのインターハイ出場で、二人一組で男子組演武を披露します。